

1月25日
土曜日
2003年
(平成15年)
PM 8:30

連続優勝を果たし、祝いのタイを手に喜ぶ大関朝青龍（写真上）琴光喜を下し、2場所連続優勝を決めた朝青龍（写真右）タミル夫人から祝福のキスを受ける朝青龍（共同）



朝青龍 押し出し 琴光喜
13勝1敗 12秒2（8勝6敗）

朝青龍 連続 横綱だ

14日目で決着！ノルマ13勝クリアで当確！



大相撲初場所

14日目◇25日◇両国国技館
大関朝青龍（22Ⅱ高砂）が2場所連続優勝を決め、場所後の横綱昇進を確実にした。単独トップの朝青龍は小結琴光喜を退け、13勝目を挙げて1敗を堅持。2敗力士がいなかったため、千秋楽を待たずに賜杯獲得を決めた。

日本相撲協会の北の湖理事長（元横綱北の湖）は朝青龍の昇進について「求められていた最低の13勝はクリアした。見通しは明るい」と話した。

昇進問題を預かる審判部は、千秋楽（26日）の午前11時から朝青龍の昇進問題を協議し、昇進問題を諮る理事会の開催と、27日に開かれる横綱審議委員会（横審）への諮問を北の湖理事長に要請する見通し。

朝青龍は横審の横綱推薦内規である「大関で2場所連続優勝か、それに準ずる成績」は満たしており、29日午前11時に開かれる審判部編成会議と理事会で、68人目の横綱が正式に誕生する。